

# とちぎ義博 議会レポート



第8号  
 発行者:福岡市議会議員 栃木義博  
 〒814-0001  
 福岡市早良区百道浜1-3-13-305  
 TEL.845-7669 FAX.845-8511  
 E-mail:tchigami@bronze.ocn.ne.jp

CLUB MET  
 SCHEDULE

24日(火) 高齢者スポーツ大会  
 25日(水) 同和対策協議会  
 26日(木) 全国都市問題会議(～10/27)  
 30日(月) 都市計画審議会

1日(水) 水道企業団議会(～11/2)  
 2日(火) 第1委員会  
 14日(火) 決算特別委員会(～11/28)

1日(金) 福岡市学校保健大会  
 4日(月) 議会運営委員会(予定)  
 6日(水) 第5委員会(予定)  
 11日(月) 12月議会(～12/19予定)

## 9月定例議会の質問から

### ・百道浜の超高層マンション問題について ・「中世博多展」市費投入について



9月21日から28日までの定例議会で25日、民主・市民クラブを代表してまちづくりへの行政の姿勢が問われる百道浜のマンション建設問題と、市民にとっての税金の効率運用に疑問を投げかける「中世博多展」について質問しました。

#### 住民の意志踏まえ、責任ある対応を

**栃木** シーサイドももち地区の超高層マンション建設問題で住民は「自分たちも将来、超高層建造物を建てない」と、自らの財産権を犠牲にした上で、放送事業者等と一体で反対しています。

本件の建設計画は、建築基準法の例外許可「総合設計」に基づいていますが、本来これは、零細な敷地での建築物乱立を防ぐ目的のもので、同地区に当てはめるのは「例外許可の乱用」と言えます。今後、他地区への波及も懸念されます。

これを踏まえて、まちづくりの理念を示して市民と協働で地区整備計画を策定し、都

市景観条例の実効性を高めるとともに、新たなまちづくり条例の制定など責任ある対応をとるべきと考えます。執行部の考えを質します。

#### 地区整備計画の拡大を検討

**福岡市** 本件のマンション建設では当初の135坪から100坪に計画変更を検討中とのことであり、建築許可については高さに限定せず、全体のデザインなどを総合的に判断していく。当該地区のまちづくりが始まって10年が経過し、急激かつ大幅な変化はないと考え



他の建築物を圧倒するマンションの高さ。左は市博物館<当初計画に基づく地区住民作成の模型より>

ているが、地区整備計画の拡大については好ましいことであり、地区住民の合意形成の状況を勘案しながら検討したい。地区住民とともにシーサイドももちの機能、魅力を高めていくよう取り組んでいきたい。(答弁＝山崎市長、美山助役、高都市整備局長、脇坂建築局長)

#### 市費1億円投入のメリットとは

**栃木** NHK大河ドラマ「北条時宗」のロケにも使われる「中世博多展」が、早良区百道浜の海浜公園内で来春から一般公開されます。総事業費8億円のうち、入場料収入は6億円を見込み、市費から1億円が投入されます。

本来は全て入場料などの収入で賄うべきものであり「コスト感覚をもった行政運営」をめざす本市としては、それに見合った事業規模の適正化を図るべきです。福岡市博物館の常設展入場者数が年間56万人であることと比較しても、収入目標達成はなかなか厳しく、欠損リスクを負う納税者のメリットは何ですか。また立案実施した業者選定の経過、期間中の周辺道路の渋滞対策について伺います。

#### 入場者100万人達成に努力

**福岡市** シティーセールスの機会として捉え、経済波及効果は104億円と試算している。事業主体は実行委員会が福岡市観光コンベンションビューローが事務局。他地区の公費投入は、現在開催中の「静岡葵博」で



浜野良彦さん＝左＝1947年生まれ。小児歯科「林橋会」理事長。九州大学歯学部講師を経て63年から現職。家族は妻と息子2人。

**栃木** 自分たちが生きる、ただ今現在のことは考えて、子どもや高齢者、環境の問題にしても本当の意味での目配りをしてこなかったのではないかと、そのツケが今、噴出しているように思えます。

**浜野** 若い親の世代は個性化強調の中で育ち、世代の塊として共鳴する価値観や文化といった次世代に引き継ぐものを見失っている。不幸なことだと思えます。

**栃木** 家庭と地域とのかわりが薄れ、親世代が不器用とか、社会性がないとか言われることと無縁ではありませぬ。

**浜野** 若い親の世代は個性化強調の中で育ち、世代の塊として共鳴する価値観や文化といった次世代に引き継ぐものを見失っている。不幸なことだと思えます。

#### 教育の基本は家庭。地域には親子関係をサポートする視点が必要です。

**濱野** そう。親子関係を

**行政には「理解力」を求めたい**

**栃木** 運営のための知恵、

#### 「一緒に話そう」子育て支援施設「親子ミュージアム」はなぜ必要か

今回の「一緒に話そう」は、医療法人「林橋会」福岡市南区理事で、長く小児歯科の臨床にもあたってきた浜野良彦さん(53)がゲスト。日曜診療や、若い親が互いの子育てについて語り合う「パパママの会」(託児あり、月一回)の開催など、子育て支援の取り組みを続ける浜野さんは、演劇やコンサート、集団遊びを取り入れて、親子がともに楽しむことをテーマにした施設「親子ミュージアム」(仮称)設置の必要を訴えています。

になる。就労形態を変えたりといった社会の変革は、なかなか進まないのが現実です。

#### 民間の人材を活用する「公設民営」方式で、ぜひ実現を。

人材づくりが重要ですね。それは行政だけでは難しい。

**浜野** これからの行政にはむしろ「理解力」を求めますね。何もかも行政で、というのは地域の可能性をつぶすことにもなる。最近では中高年や主婦ばかりか、30～40代の男性もボランティアのすがすがしさを知って来た。行政は地域の人材、ボランティアの能力を活用するマネジメントの力をもつてほしい。

**栃木** 施設は行政がつくっても、ボランティアやNPO団体、民間企業のノウハウなど多様な知恵を取り込んで、より血の通った運営をする。これは「公設民営方式」といいますが、「親子ミュージアム」構想は、その点からも注目、応援していきたいと思えます。

## 論点 まちづくりの思い、くみ上げる市政を

福岡市議会議員 栃木義博

超高層マンション建設問題では高さなどの基準が定まるまで建築許可は待つ、という住民の声に、市は法律の例外許可を楯に手続きを進めると言う。今、まちづくりへの住民の思いを行政がどうくみ上げ、反映させるかという問題が京都府や太宰府市など、全国各地で焦点になっている。百道浜同様の新興の街・神戸ポートアイランドも10年経過後の規制がはずれ、法の網をかくくぐる業者の圧力に喘ぐ。

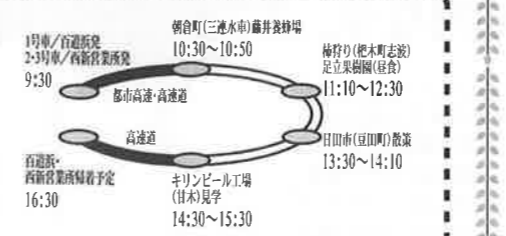
ふるさとには市民が自らの手で創るものだ。神奈川県真鶴町や大分県湯布院町などは独自の条例で町並みを守る。東京のようになつてはならない。福岡らしい特色ある都市を目指すなら、毅然とした姿勢が必要だ。新たなまちづくり基準策定の必要を痛感する。市の再考を求めたい。

## ◆ 杷木の柿狩り、日田を巡るバスツアー ◆

11月12日(土)実施  
 電話で参加を受付中です。  
 ◆西新発 電話090-7161-4943  
 ◆百道浜発 電話092-823-0441

深まる秋の1日を楽しむバスツアー。今年11月12日に実施します。皆さんに直接、活動報告をさせていただくこの機会。ぜひ家族連れでご参加ください。

コースは別記の通りですが、特に楽しみなのは天領・日田の豆田町散策。江戸期に花開いた天領文化の格の高さがしのばれるすばらしい町並みです。そこに建つ日本丸館という全国でもユニークな民営の薬博物館はタイムスリップ気分最高にエキサイティング。ビール工場での出来立てビールの試飲も楽しみです!



- ◆と き 11月12日(土)/午前9時15分集合/9時30分出発(午後4時30分 帰着予定)
  - ◆集合場所 1号車＝百道浜・西部ガスミュージアム西側石畳道路 2,3号車＝西鉄バス西新営業所
  - ◆参加費用 大人:3000円/小学生・幼児:1500円/3歳以下:無料(弁当、飲み物、バス代として、柿は各自別途支払)
  - ◆申し込み 11月5日(日)締切(満員になり次第、締め切りです) \*1号車(百道浜):092-823-0441-山永 \*2,3号車(西新):090-7161-4943-長田
- ※雨天決行。昼食時に使用するビニルシートをご持参ください。